

もりもり

第82号 医療法人 盛島歯科医院
 2018.2.1発行 <http://www.010.upp.so-net.ne.jp/morishima/>

検査結果を
レポートでお返します。

唾液検査はじめました

Dr. 浅野 聖子

唾液検査でわかること

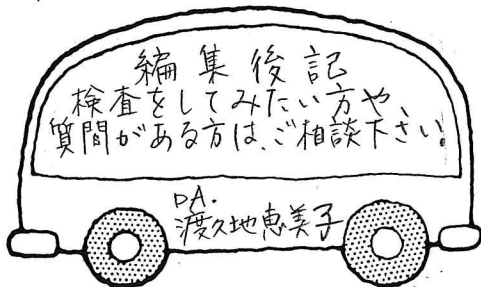
- 歯の健康: 虫歯菌の数、お口の中の酸性度、唾液の緩衝能を調べることで、虫歯のなりやすさをチェックします。
- 歯ぐきの健康: 白血球や、たんぱく質を調べることで、歯肉の出血の有無や歯周病菌の多さなど、歯周病の進行度合いを測ります。
- お口の清潔度: 口臭の原因となるアンモニアの量を測ります。

検査は簡単! 検査液を含んで10秒間うがいをするだけ。
 5分ほどで結果がでるので、治療の間に検査を行うことができます。

お口の中の状態は、食生活やメンテナンスの具合、加齢やストレスなどでも日々変化します。

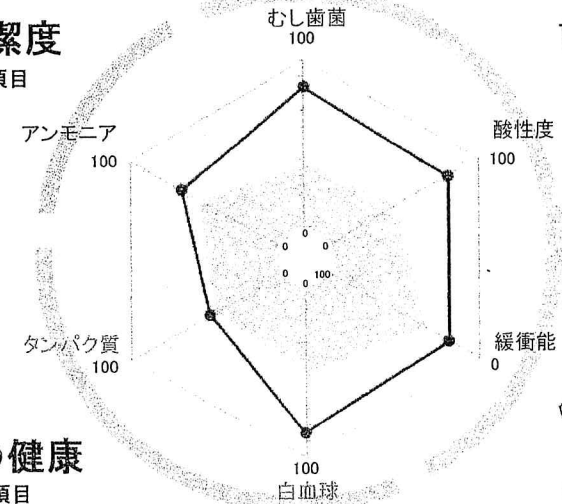
自分のお口の状態を知ること、健康な口内環境の保持にお役立て下さい。

詳しくはスタッフまで!



10月末から盛島歯科医院のスタッフとなりました。上原と申します。趣味は音楽を聴くことや、犬のお散歩などです。これからも日々頑張ります。よろしくお願ひ致します。DA. 上原布未

口腔清潔度 に関する項目



歯の健康 に関する項目

歯ぐきの健康 に関する項目

※グラフの見方: 六角形が小さいほど、お口の健康状態が良いことを示しています。測定結果は、唾液を試験紙に滴下した際の色調を百分率で示しています。(実際の菌数や濃度などではありません)

虫歯菌	84	多め 平均値: 37	むし菌菌数は多めです。磨き残しのプラークや不良補綴物があると、むし菌菌数が多くなります。
酸性度	79	高め 平均値: 43	唾液の酸性度は高めです。磨き残しのプラークが多いと、唾液の酸性度が高くなります。
緩衝能	21	弱め 平均値: 36	緩衝能(酸に対する抵抗力)が弱いです。緩衝能が弱いとむし菌になりやすいため注意が必要です。

白血球	85	多め 平均値: 49	白血球量が多いです。歯肉に炎症があると、唾液中の白血球(=膿)が多くなります。
タンパク質	46	平均レベル 平均値: 43	タンパク質量は平均レベルです。歯周病の原因菌が増え、歯肉に炎症が起きると、唾液中のタンパク質が多くなります。

アンモニア	65	多め 平均値: 53	口腔内の細菌総数が多いと、唾液中のアンモニアが多くなり、口臭などの原因になることが知られています。
-------	----	---------------	---

総合コメント: むし菌のリスク、歯周病のリスクともに高い状態です。プラークコントロール(=磨き残しを減らす)ことが重要になります。自分で行うセルフケアとともに歯科医院でのケアもお勧めします。他に、薬用歯磨剤の使用やうがい薬の使用も効果的です。

